

# 特許紹介

第22卷第8號 昭和11年8月

## 建築構材骨組法

(特許第 115857 號 出願 9-4-5)  
(特許権者 (發明者) 松本道三郎)

此の發明は特許第 110086 號 (本誌第 21 卷 7 號の本欄参照) の改良であつて、原發明がジグザク屋根構成

図-1.

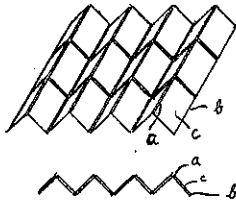
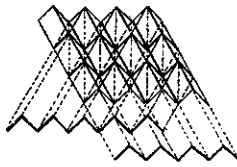


図-2.



法に係るもの (図-1) であるが、此の發明は更に之と交叉するジグザクを構成するやうに部材を附加補充するものであつて (図-2)、主材部が筋違部を兼用し、大なる横力に抵抗する様にしたものである。

## 管接合用緊着装置

(特許第 115592 號 出願 5-7-5)  
(特許権者 ゼ・ヘダントン・アイアンワークス・コンパニー・リミテッド)

此の發明は、ゴムの如き多少弾性を有する接合材料を相果合する挿口及び承口の隙隙中に縦方向に押し込んで密封接合をする式の管接合部に於て、填隙或は締付けボルトを使用せず縦方向に圧力を生ぜしめる緊着装置であつて、着脱自在であるが故に、順次他の接合部に適用して緊着する事の出来るものである。即ち図-3、図-4

図-3.

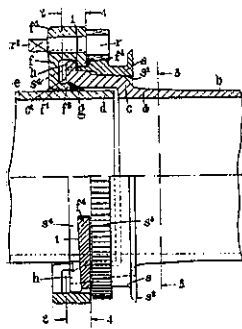
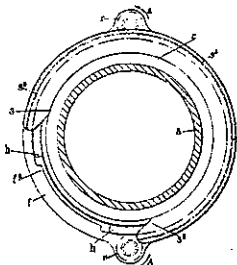


図-4.



に見る如く外周に齒を有する c 字状部 (s) を承口 (c) 上に挿入し、楔環 (f) に處々、樞着した小齒輪 (r) と啮合せ小齒輪を迴轉する事に依つて、s 上を轉動せしめ、従つて楔環 (f) が迴轉し、承口の突起 (h) と楔環の突起 (f') とが相係合し、接合材 (g) を圧迫せしめるのである。

## セメントモルタル、セメントコンクリート

### 防水、防腐蝕、塵耗抵抗劑

(特許第 115504 號 出願 9-10-15)  
(特許権者 (發明者) 大倉親光)

此の發明は、珪酸ナトリウムに珪弗化亞鉛の適量を配合するを特徴とするものであつて、モルタル・コンクリート混練の際、其の少量を混合する事に依つて、これらの強度を減ずる事なく、防水、防蝕、耐磨的ならしむるを目的とする。

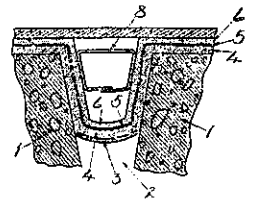
## アスファルト層の膨出龜裂止め施工方法

(特許第 110516 號 出願 10-8-12)  
(特許権者 (發明者) 眞山菊五郎)

此の發明は、アスファルト層の伸縮を自由にし、その膨脹の際にも收縮の際にもアスファルト層をコンクリート面より離れさすことなき施工方法を提供せんとするにある。敘上の目的を達せんが爲に、コンクリート施工の際に設けられたコンクリート層龜裂止め用の溝 (2) を利用し、之にアスファルト層

を例へば V 字形に陥没せしめ、其の左右兩側を溝 (2) の内面に接觸せしめ、左右兩内側面の中途の高さの部に接觸して突張片 (8) を楔狀に嵌合没入せしめて置くものである (図-5)。

図-5.



## コンクリート管製造装置

(特許第 115543 號 出願 9-10-15)  
(特許権者 (發明者) 小朝信三郎)

此の發明は、遠心力利用の管製造装置に関するものであつて、迴轉体 (3) の周圍に多數のローラー (6) を配置し、且つ其の外圍に環狀軌道 (10) を定設して、之とローラーとの間に管の形成型 (11) を收容するやうにしたものである。この故に、型を同時に多數收容して大量的に製産し得る以外に、型は凡てローラー接觸であるが故に

図-6.

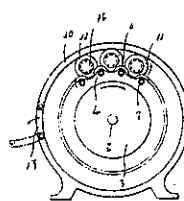
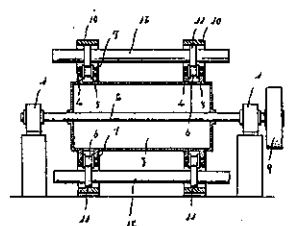


図-7.



廻転操作円滑で高速廻転に適する (図-6, 7)。

混合セメント製造法

(特許第 115553 號 出願 9-5-29)  
(特許権者 (發明者) 永井彰一郎)

此の發明は、混合セメントに於て、凝結時間が普通のポルトランドセメントと異なる處なく、短期硬化強度も亦充分大なるものを經濟的に製造せんとする目的を以て考案せられたものであつて、即ち普通セメントクリンカー又は綠色頁岩、油頁岩、頁岩灰、火山灰、壩母等と石灰石とより燒成して得た特殊セメントクリンカーを第一要素とし、別に綠色頁岩、油頁岩又は可溶性珪酸物質等と石灰石とを混合し、約 900°C に煨燒したものを第二要素とし、この第一 第二要素を混合し微粉に粉碎して製造する法である。

抜取自在の成形筒に依る坑壁崩壊止め構成方法

(特許第 115634 號 出願 9-12-23)  
(特許権者 (發明者) 梅田宗次郎)

此の發明は、特許第 112 389 號(本誌第 21 卷 13 號参照)の改良であつて、原發明が成形筒を坑壁内に挿入し、後堆積せしめたモルタルを筒外周細隙に押進充填せしめた後、之を二重管ロットを通して循環する熱氣等に依り迅速に加熱凝固せしめ、後成形筒を抜き取るものであるが、此の發明はこの成形筒を特に容易に解体縮小出来るやうにしたものである (図-8)。

コンクリート連続混合機

(特許第 115637 號 出願 10-6-8)  
(特許権者 (發明者) 片岡寛一)

此の發明は、混合資料の入出を連続的にして充分なる混合作業を行ひ得る装置に係る。即ち廻転円筒 (11') 内に導水孔を有する中空軸を円筒の廻転に對し反對方向に廻転せしめ得る様に軸装し、且つ外周に設けた螺旋翼の方向並びに數を異にした 2 種の攪拌子 (1, 3), (2, 4) を中空軸上に交互に配列し、其の中 1 種 (2, 4) を中空軸に固着し、他種のもの (1, 3) を廻転円筒 (11') に固着し、更に円筒の兩側には入口 (8) 及び出口 (9) を有する覆蓋 (10), (11) を設けて、コンクリート資料中に水を噴出し乍ら之を連続的に混合排出せしめ得るやうにしたものである。從

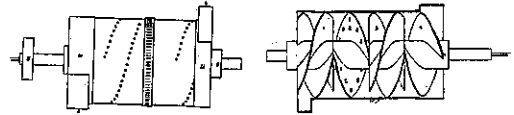
図-8.



つて、円筒及び軸の廻転が停止することなく、即ち混合作用が連続的に行ひ得る (図-9, 10)。

図-9.

図-10.



塵芥焼却装置

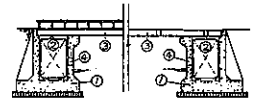
(特許第 115638 號 優先権主張 9-7-28 (編)  
(特許権者 (發明者) メタル、ケゼルシヤフト、アクチェンゲゼルシヤフト)

流失線防自動橋

(特許第 115690 號 出願 10-1-3)  
(特許権者 (發明者) 大西順一、小川吉之助)

此の發明は、河川の橋梁に於て増水が甚だしくなり、或一定の限度に達した時、其の水量或は水位を利用し自動的に橋梁を上方に移動せしむる装置を橋臺に施したものであつて、之に依り橋桁の流水中に没入し、或は流失物が橋桁にかかり橋梁を破壊流失せしむるを防ぐのである。図-11は河川の増水甚だしくなつた時河水は水口 (4) を通つてタンク室内に流入し浮揚タンク (2) を上昇せしめ、従つて橋桁を上昇せしめる装置を示す。

図-11.



(附) 登録實用新案

- 不凍給水栓 (第 221325 號 實用新案權者 公告 10 年第 15973 號)  
種 成 仁
- 鉄筋コンクリート用埋込ボルト (第 21317 號 實用新案權者 公告 10 年第 14593 號)  
山本 一 次
- 水準測量計算尺 (第 221333 號 實用新案權者 公告 10 年第 18579 號)  
駒 一
- 試験管取出装置 (第 221335 號 實用新案權者 公告 10 年第 14420 號)  
日下部 義太郎
- 消火栓の排水装置 (第 221339 號 實用新案權者 公告 10 年第 18924 號)  
水道工業株式会社
- 水 栓 柱 (第 221351 號 實用新案權者 公告 10 年第 14522 號)  
浪川 徳 三 郎
- 遠心力コンクリート形成機用形成型 (第 221433 號 實用新案權者 公告 10 年第 16323 號)  
小 柳 信 三 郎
- 可動コンクリート單床 (第 221516 號 實用新案權者 公告 10 年第 15793 號)  
北 村 多 俊 太郎
- 氣水混用隔壁装置 (第 221713 號 實用新案權者 公告 10 年第 18629 號)  
鹿 田 岩 治
- 基礎構築造用装置 (第 221957 號 實用新案權者 公告 10 年第 15789 號)  
中 村 金 藏
- 橋 床 (第 222109 號~第 222110 號 實用新案權者 公告 11 年第 345 號~第 346 號)  
東洋鋼材株式会社
- 消火栓の凍結防止装置 (第 222151 號 實用新案權者 公告 11 年第 462 號)  
水通工業株式会社

(吉 藤 幸 朗)